

お問い合わせ内容

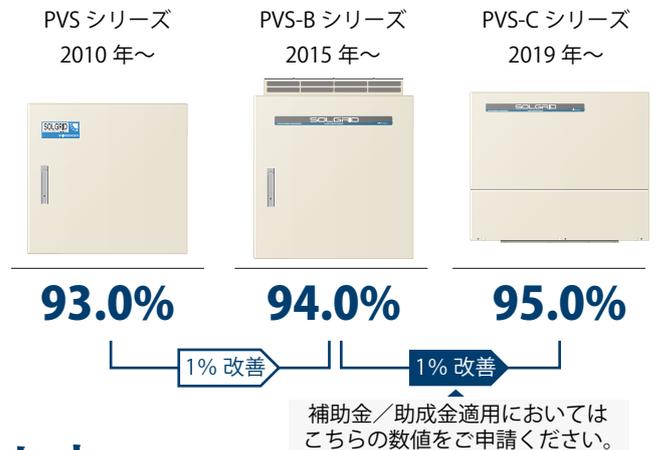
PVS-C シリーズの従来機種比における
発電効率／損失の改善について

PVS-B シリーズ比で変換効率 1%改善しております。

製品 1 世代ごとに 1%の変換効率改善を達成しております。補助金／助成金のご申請においては、従来機種（PVS-B シリーズ）に対する「1%の効率改善」のご案内となります。なお、効率比較は同一条件（定格出力／力率 1.00）での値となります。

■ 効率改善の背景について

環境性能向上のため、メイン回路への低損失次世代パワーデバイス採用およびスイッチング動作の高速化により、低損失化と低騒音化（高周波音）を同時に達成しております。



夜間の消費電力を低減しております。

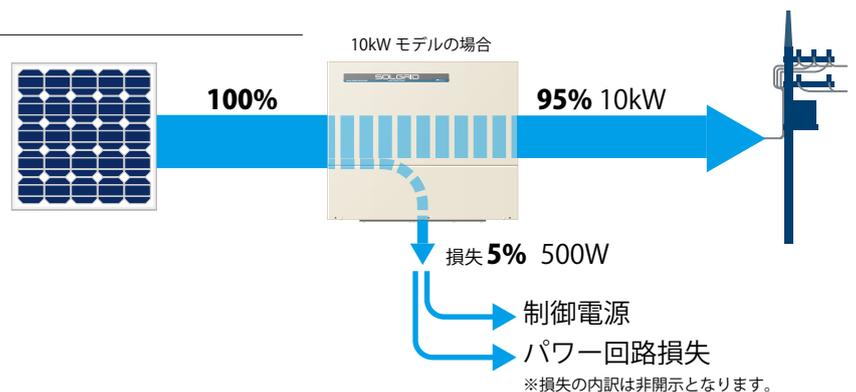
制御電源（補助電源）の消費電力は、従来機種（PVS-B シリーズ）に対して 8W / -44% の低減を達成しております。



電力変換効率と待機電力の考え方について

■ 連系運転中

連系運転中における PCS としての消費電力は、電力変換効率によって算出される損失相当となります。たとえば 10kW モデルの場合は、入力電力の約 5%(500W) が PCS 内にて消費されています。運転中はパワー回路が駆動しておりますので、納入仕様書記載の待機電力ではなく、変換効率からの算定となります。



■ 夜間停止中

夜間停止における PCS としての消費電力は、納入仕様書に記載の「待機電力」となります。PCS は、夜間においても系統異常（停電など）の監視を行うことが義務づけられておりますので、最小限の計測回路を動作させています。

